

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1) 業績

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善に加え、設備投資が拡大、また個人消費も緩やかに回復し、景気は回復基調のうちに推移いたしました。

しかし、外食産業におきましては、市場規模が平成10年以降8年間連続して縮小するという厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは平成17年11月、社長の交替を機に、新社長の経営方針と事業戦略(①企業風土の確立、②労働環境の改善、③予算の達成、④マネージャー制の確立、⑤本部バックアップ体制の強化、⑥成果主義の徹底、⑦新規事業の推進)を全役職員に周知徹底し、活気ある店づくり、楽しい職場づくりに取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の新規出店につきましては、国内13店舗(直営11、FC2)、海外1店舗(直営1)を出店し、一方で不採算店等15店舗(直営8、FC7)を退店いたしました。なお、国内13店舗のうち4店舗は、多角化を視野に入れた新規事業への取り組みに伴い、レッドスパイス(スープカレー)2店舗、ほんじょ屋(居酒屋)1店舗、J A V A(洗車場)1店舗を新規出店したものであります。これらにより、当中間連結会計期間末の店舗数は、マリンボリス26店舗(直営17、FC9)、シーじゃく115店舗(直営84、FC31)、まぐろ三昧1店舗(直営1)、レッドスパイス2店舗(直営2)、ほんじょ屋1店舗(直営1)、J A V A 1店舗(直営1)の合計146店舗(直営106、FC40)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高5,395百万円(前年同期比0.4%減)、経常利益88百万円(同18.0%減)となりました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う減損損失等の特別損失535百万円を計上したことから、中間純損失358百万円(前中間連結会計期間は中間純利益41百万円)となりました。

#### (2) キャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,539百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は693百万円(同218.4%増)となりました。

これは主に減損損失498百万円、減価償却費221百万円、仕入債務の増加511百万円などによる資金の増加があった一方で、税金等調整前中間純損失445百万円、法人税等の支払額53百万円等があったことなどによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は473百万円(同53.0%増)となりました。

これは主に新規出店に伴う有形固定資産取得による支出412百万円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は483百万円(同2.2%減)となりました。

これは主に長期借入を1,000百万円行った一方で、短期借入返済を110百万円、長期借入返済を363百万円行ったことなどによるものです。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

### (1) 生産実績

当社グループは、主として最終消費者へ直接販売する飲食業を行っておりますので、生産実績は記載しておりません。

### (2) 受注状況

当社グループは、主として最終消費者へ直接販売する飲食業を行っておりますので、受注状況は記載しておりません。

### (3) 販売実績

当社グループは、主として最終消費者へ直接販売する飲食業を行っております。なお、同事業の売上高及び営業利益の金額が、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門の名称	金額（千円）	前年同期比（％）
飲食事業		
直営店部門（千円）	5,306,551	99.5
F C 部門（千円）	80,542	94.7
計（千円）	5,387,094	99.5
洗車事業その他 （千円）	8,047	—
合計（千円）	5,395,141	99.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. F C 部門の販売実績の主なもの、フランチャイジーからのロイヤリティー収入等であります。

## (4) 直営店舗の地域別販売実績(飲食事業)

地区・都道府県		金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
関西地区	大阪府	292,279	5.5	78.8
山陰地区	島根県	424,998	8.0	95.3
	鳥取県	4,363	0.1	—
山陽地区	岡山県	976,663	18.4	91.0
	広島県	655,717	12.3	94.6
	山口県	443,184	8.3	133.4
九州地区	福岡県	1,611,805	30.4	95.7
	佐賀県	311,676	5.9	112.8
	熊本県	131,067	2.5	111.6
海外	米国	454,794	8.6	134.5
合 計		5,306,551	100.0	99.5

(注) フランチャイジー(F C店)の地域別販売実績は、次のとおりであります。

なお、フランチャイジー(F C店)の売上高は、当社の売上高に含まれておりませんが、ロイヤリティーの算出の基礎となるものであります。

地区・都道府県		金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
関西地区	兵庫県	216,181	10.4	71.1
山陽地区	岡山県	250,471	12.1	130.9
	広島県	411,740	19.8	84.5
	山口県	315,001	15.2	97.6
四国地区	愛媛県	134,698	6.5	116.3
	高知県	48,597	2.3	64.9
九州地区	福岡県	112,315	5.4	91.7
	長崎県	244,744	11.8	111.5
	佐賀県	43,269	2.1	97.1
	大分県	168,938	8.1	91.1
	宮崎県	38,704	1.9	71.0
	鹿児島県	90,160	4.4	105.9
合 計		2,074,823	100.0	94.0

### 3 【対処すべき課題】

当中間連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

### 4 【経営上の重要な契約等】

当中間連結会計期間において、当社グループが新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 5 【研究開発活動】

該当事項はありません。